

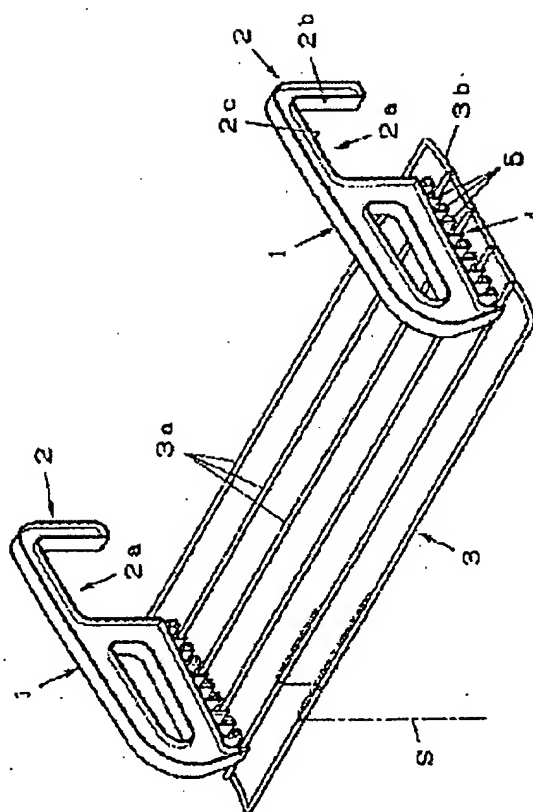
CLOTHES DRYING DEVICE

Patent number: JP2003111997
 Publication date: 2003-04-15
 Inventor: KOBAYASHI AKIRA
 Applicant: TIGER CROWN:KK
 Classification:
 - international: D06F57/12
 - european:
 Application number: JP20010310552 20011005
 Priority number(s):

Abstract of JP2003111997

PROBLEM TO BE SOLVED: To enable the adjustment of the position of contact between the clothes placement body of a clothes drying device and a hook-receiving material and thus the adjustment of the posture of the placement body, enhance the applicability of the drying device to hook-receiving materials, and expand the applications of the device, by making it possible to adjust the relative installation position between holding bodies and the placement body according to the size of hook-receiving materials.

SOLUTION: The clothes drying device comprises a plurality of the holding bodies 1 having hooking portions which can be hooked on a hook-receiving material W in a clothes-drying place, a bath room, or the like; and the clothes placement body 3 installed on the holding bodies. The placement body is installed on the holding bodies so that the placement body can be freely detached and attached by coupling portions 4 and the position of the placement body is adjustable in the direction opposite the hook-receiving material. Thus, the position of contact between the placement body and a hook-receiving material can be varied according to the size B of the hook-receiving material in the direction of the width, by adjusting the position of the placement body.



Data supplied from the esp@cenet database - Patent Abstracts of Japan

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2003-111997

(P2003-111997A)

(43) 公開日 平成15年4月15日 (2003.4.15)

(51) Int.Cl.⁷

D 0 6 F 57/12

識別記号

F I

D 0 6 F 57/12

フィート* (参考)

Z

審査請求 有 請求項の数 4 O L (全 5 頁)

(21) 出願番号 特願2001-310552(P2001-310552)

(22) 出願日 平成13年10月5日 (2001.10.5)

(71) 出願人 391028719

株式会社タイガーラウン

新潟県燕市大字小池3330番地4

(72) 発明者 小林 彰

新潟県燕市大字小池3330番地4 株式会社
タイガーラウン内

(74) 代理人 100092691

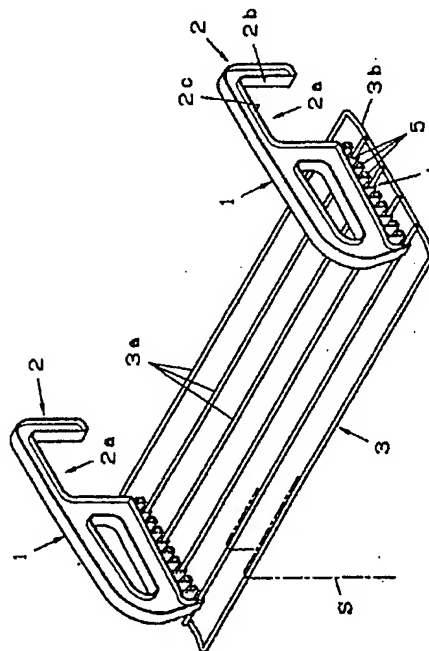
弁理士 黒田 勇治

(54) 【発明の名称】 物干し器

(57) 【要約】

【課題】 被引掛材のサイズに応じて保持体と干置体との相対取付位置を調節し、この調節により干置体と被引掛材との当接位置を調節することにより干置体の姿勢を調節することができ、被引掛材に対する使用の融通性を高め、使用用途を拡大することができる。

【解決手段】 ベランダ、浴槽等の被引掛材Wに引掛可能な引掛部を有する複数の保持体1と、保持体に設けられる干置体3とからなり、上記干置体を上記保持体に対して連結部4により着脱自在及び被引掛材に対向する方向に位置調節自在に設け、干置体の位置調節により被引掛材の幅方向のサイズBに応じて干置体と被引掛材との当接位置を可変自在に設けてなる。



(2) 003-111997 (P2003-97)

【特許請求の範囲】

【請求項1】 ベランダ、浴槽等の被引掛材に引掛可能な引掛部を有する複数個の保持体と、保持体に設けられる干置体とからなり、上記干置体を上記保持体に対して連結部により着脱自在及び被引掛材に対向する方向に位置調節自在に設け、干置体の位置調節により被引掛材の幅方向のサイズに応じて干置体と被引掛材との当接位置を可変自在に設けてなることを特徴とする物干し器。

【請求項2】 上記連結部は、上記保持体に鉤状部を上記被引掛材に対向する方向に並列状に複数個形成すると共に上記干置体に該各鉤状部に着脱可能な棚杆を上記被引掛材に対向する方向に並列状に複数個設けてなることを特徴とする請求項1記載の物干し器。

【請求項3】 上記引掛部は上記被引掛材の後面に当接可能な後引掛部及び該被引掛材の上面に当接可能な上引掛部からなることを特徴とする請求項1又は2記載の物干し器。

【請求項4】 上記保持体は上記被引掛材を受入可能な受入凹部を形成し、該受入凹部の内面を上記後引掛部及び上引掛部に形成してなることを特徴とする請求項3記載の物干し器。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は例えばベランダや浴槽等を利用して洗濯物を干す際に用いられる物干し器に関するものである。

【0002】

【従来の技術】 従来、この種の物干し器として、ベランダ、浴槽等の被引掛材の上部に引掛可能な保持体と、この保持体に設けられた干置体とからなる構造のものが知られている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 しかしながら上記従来構造の場合、ベランダ、浴槽等の被引掛材のサイズに適合できないことがあり、それだけ商品の使用の融通性を低下させることがあるという不都合を有している。

【0004】

【課題を解決するための手段】 本発明はこのような課題を解決することを目的とするもので、本発明のうちで、請求項1記載の発明は、ベランダ、浴槽等の被引掛材に引掛可能な引掛部を有する複数個の保持体と、該保持体に設けられる干置体とからなり、上記干置体を上記保持体に対して連結部により着脱自在及び被引掛材に対向する方向に位置調節自在に設け、該干置体の位置調節により被引掛材の幅方向のサイズに応じて干置体と被引掛材との当接位置を可変自在に設けてなることを特徴とする物干し器にある。

【0005】 又、請求項2記載の発明は、上記連結部は、上記保持体に鉤状部を上記被引掛材に対向する方向に並列状に複数個形成すると共に上記干置体に該各鉤状

部に着脱可能な棚杆を上記被引掛材に対向する方向に並列状に複数個設けてなることを特徴とするものであり、又、請求項3記載の発明は、上記引掛部は上記被引掛材の後面に当接可能な後引掛部及び該被引掛材の上面に当接可能な上引掛部からなることを特徴とするものであり、又、請求項4記載の発明は、上記保持体は上記被引掛材を受入可能な受入凹部を形成し、該受入凹部の内面を上記後引掛部及び上引掛部に形成してなることを特徴とするものである。

【0006】

【発明の実施の形態】 図1乃至図6は本発明の実施の形態例を示し、図1乃至図5は実施の第一形態例、図6は第二形態例である。

【0007】 図1乃至図5の実施の第一形態例において、1は保持体であって、この場合合成樹脂製にして二個設けられ、ベランダ、浴槽等の被引掛材Wの上部に引掛可能な引掛部2を有している。

【0008】 この場合、上記被引掛材Wは横杆W₁及び縦杆W₂からなる建物のベランダとなっており、又、上記引掛部2として、上記保持体1に上記被引掛材Wの上部を受入可能な受入凹部2aを形成し、受入凹部2aの内面に上記被引掛材Wの後面である横杆W₁の後面に当接可能な後引掛部2b及び被引掛材Wの上面である横杆W₁の上面に当接可能な上引掛部2cを形成している。

【0009】 3は干置体であって、金属線材からなる複数個の棚杆3a・・・及び側杆3bからなり、上記保持体1に対して連結部4により着脱自在及び被引掛材に対向する方向に位置調節自在に設けられ、保持体1と干置体3との選択的な着脱により干置体3の保持体1に対する相対位置を調節し、この位置調節により被引掛材Wの幅方向のサイズBに応じて干置体3と被引掛材Wとの当接位置Pを可変自在に設けて構成している。

【0010】 この場合、上記連結部4は、上記保持体1に鉤状部5・・・を上記被引掛材Wに対向する方向に並列状に複数個形成すると共に上記干置体3に各鉤状部5・・・に同時に着脱可能な棚杆3a・・・を上記被引掛材Wに対向する方向に並列状に複数個設けて構成している。

【0011】 この実施の第一形態例は上記構成であるから、図1の如く、二個の保持体1を干置体3の左右両側に配置し、連結部4により保持体1に干置体3を連結し、二個の保持体1を引掛部2によりベランダ、浴槽等の被引掛材Wの上部に引掛けると共に干置体3の桿杆3bの外周と被引掛材Wとを当接位置Pで当接させることにより保持体1及び干置体3を被引掛材Wに保持させ、干置体3にタオル等の洗濯物Sを吊したり置いたりして使用することになる。

【0012】 この際、干置体3は保持体1に対して連結部4により着脱自在及び被引掛材に対向する方向に位置調節自在に設けられているので、図4又は図5の如く、

(3) 003-111997 (P2003-197)

連結部4により、被引掛材Wの幅方向のサイズB、この場合、横杆W₁の外周と縦杆W₂の外周との距離の大小に応じて保持体1と干置体3との相対取付位置を調節し、この調節により干置体3の棒杆3bの外周と被引掛材Wとの当接位置Pを調節し、この調節により干置体3の例えば略水平状態等の姿勢を調節することができ、それだけ、被引掛材Wに対する使用の融通性を高めて用途を拡大することができる。

【0013】又、この場合、上記連結部4は、上記保持体1に鉤状部5・・・を上記被引掛材Wに対向する方向に複数個形成すると共に上記干置体3に各鉤状部5・5・5・・・に着脱可能な棚杆3a・・・を上記被引掛材Wに対向する方向に複数個設けてなるから、複数の鉤状部5・・・と複数の棚杆3a・・・との選択的な着脱により保持体1と干置体3との相対調節位置に確実に連結することができると共に干置体3を保持体1から容易に取り外すことができ、上記相対位置調節を迅速に行うことができ、かつ、不使用時には保持体1から干置体3を取り外すことによりコンパクトに収納保管することができる。

【0014】又、この場合、上記引掛部2は上記被引掛材Wの後面に当接可能な後引掛部2b及び被引掛材Wの上面に当接可能な上引掛部2cからなるので、保持体1を被引掛材Wに確実に保持させることができ、又、この場合、上記保持体1に上記被引掛材Wの上部を受入可能な受入凹部2aを形成し、受入凹部2aの内面を上記後引掛部2b及び上引掛部2cに形成してなるから、構造を簡素化することができる。

【0015】図6の第二形態例は保持体1を三個用いた実施の形態例であり、第一形態例と同様な作用効果を得ることができると共に干置体3の大きさ及び耐荷重の増加を図ることができる。

【0016】尚、本発明は上記実施の形態例に限られるものではなく、保持体1、引掛部2、干置体3、連結部4の構造等は適宜変更して設計される。

【0017】

【発明の効果】本発明は上述の如く、請求項1記載の発明にあっては、干置体は保持体に対して連結部により着脱自在及び被引掛材に対向する方向に位置調節自在に設けられているので、被引掛材のサイズに応じて保持体と干置体との相対取付位置を調節し、この調節により干置体と被引掛材との当接位置を調節することにより干置体の姿勢を調節することができ、それだけ、被引掛材に対する使用の融通性を高め、使用用途を拡大することができる。

【0018】又、請求項2記載の発明にあっては、上記連結部は、上記保持体に鉤状部を上記被引掛材に対向する方向に複数個形成すると共に上記干置体に各鉤状部に着脱可能な棚杆を上記被引掛材に対向する方向に並列状に複数個設けてなるから、複数の鉤状部と複数の棚杆との選択的な着脱により保持体と干置体とを調節位置に確実に連結することができると共に干置体を保持体から容易に取り外すことができ、上記相対位置調節を迅速に行うことができ、かつ、不使用時には保持体から干置体を取り外すことによりコンパクトに収納保管することができる。

【0019】又、請求項3記載の発明にあっては、上記引掛部は上記被引掛材の後面に当接可能な後引掛部及び被引掛材の上面に当接可能な上引掛部からなるので、保持体を被引掛材に確実に保持させることができ、又、請求項4記載の発明にあっては、上記保持体に上記被引掛材の上部を受入可能な受入凹部を形成し、受入凹部の内面を上記後引掛部及び上引掛部に形成してなるから、構造を簡素化することができる。

【0020】以上、所期の目的を充分達成することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の実施の第一形態例の斜視図である。

【図2】本発明の実施の第一形態例の分解斜視図である。

【図3】本発明の実施の第一形態例の分解拡大斜視図である。

【図4】本発明の実施の第一形態例の使用状態の側断面図である。

【図5】本発明の実施の第一形態例の使用状態の側断面図である。

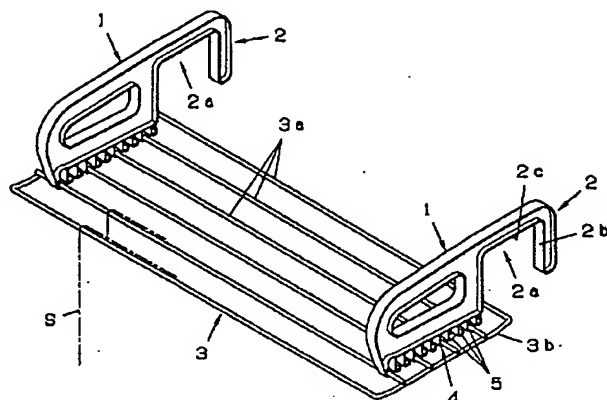
【図6】本発明の実施の第二形態例の使用状態の斜視図である。

【符号の説明】

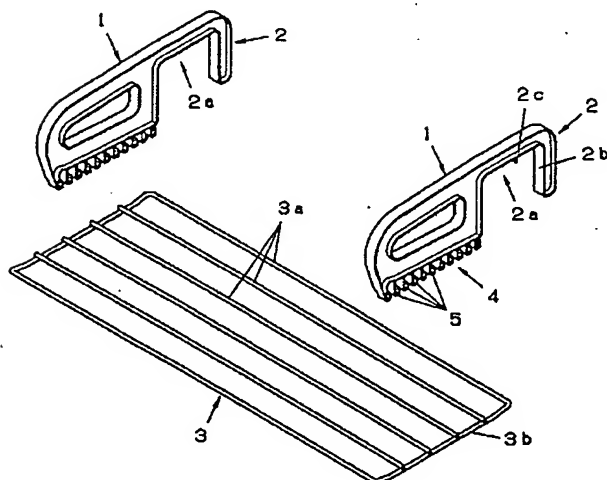
- W 被引掛材
- 1 保持体
- 2 引掛部
- 2a 受入凹部
- 2b 後引掛部
- 2c 上引掛部
- 3 干置体
- 3a 棚杆
- 4 連結部
- 5 鉤状部

:(4) 003-111997 (P2003-97

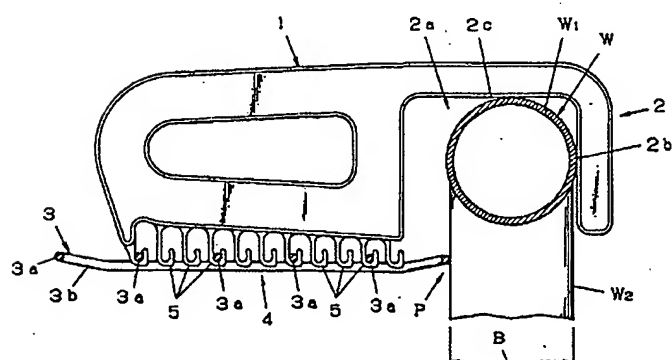
【図1】



【図2】

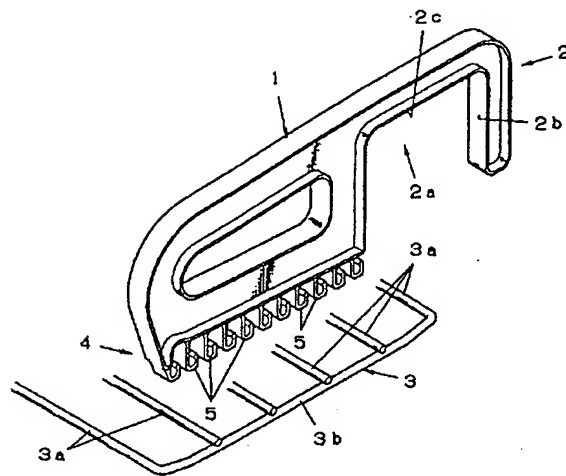


【図4】

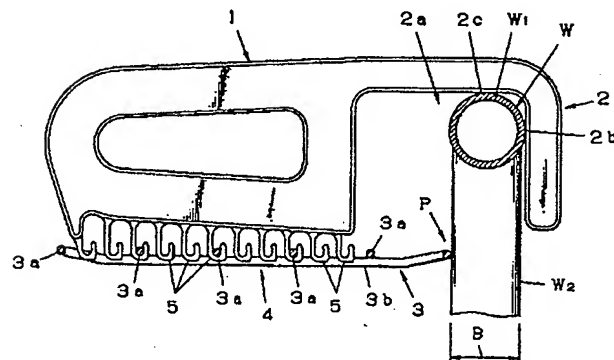


(5) 003-111997 (P2003-0097

【図3】



【図5】



【図6】

